

東アジア・オーストラリアフライウェイパートナーシップ

ガンやハクチョウなど、国境を越えて長距離移動する渡り鳥たちは、その多くが地球を南北方向に移動します。その渡り経路（フライウェイ）をみると、世界的に 9 つのフライウェイに大きく分けることができます。そのうち、東アジア・オーストラリア地域フライウェイに含まれる国々や渡り鳥を保全する取組を行っている人々が協力するための枠組が東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ（EAAFP）で、渡り鳥の生息状況や保全活動について、情報交換を行っています。伊豆沼・内沼は、2014年にEAAFPのガンカモ類ネットワークに認定され、同じくパートナーシップを結んでいる蕪栗沼、化女沼、さらに国外の生息地の人々とも協力しながら、渡り鳥やその生息地である湿地の保全に取り組んでいます。



東アジア・オーストラリアフライウェイパートナーシップ (EAAFP) のロゴ。